

要旨

私たちは、一人一人が異なる存在である。とりわけ現代は価値観が多様化し、共通の基盤が見付けにくい時代になっている。こうした「多様な私たち」を前提とした社会で生きていくためには、コミュニケーション、特に言語コミュニケーション（言葉による伝え合い）によって、情報や考え、気持ちを互いにやり取りし、共通理解を深めていくことが欠かせない。

コミュニケーションにはいつでも通用するような正解があるわけではない。しかし、より望ましい方法は、きっとあるはずである。文化審議会国語分科会は、特にそのうちの言語コミュニケーションにおいて意識すべき大切な要素として、「正確さ」、「分かりやすさ」、「ふさわしさ」、「敬意と親しさ」の四つを掲げる。これらを手掛かりとして提示し、言葉によって分かり合うための工夫を共に考えていきたい。

Q&Aの例

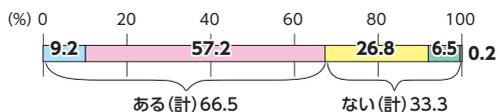
Q11 自分の言ったこと、書いたことが、思ったとおりに相手に伝わらないことや、相手の意図をうまく受け取れないことがあります。誤解は防げないものなのでしょうか。

A 伝え合いでの誤解とは、ちょっとしたことで、いつでも起こり得るものです。そのことをよく踏まえた上で、どのような場合に誤解が起こりやすいのか、具体的なケースを知っておきましょう。そうしておくことで、誤解を避けやすくなります。

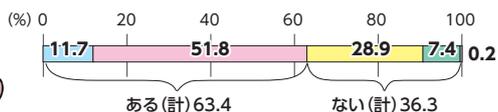
世論調査④Q1,2 人の言いたいことが理解できなかった、自分の言いたいことが伝わらなかった、それぞれの経験

よくある ときどきある 余りない ない 分からない

Q1 誰かの話を聞いて、その人が言いたかったことと、自分の受け取ったことが、食い違っていたという経験がありますか、それともありませんか。



Q2 誰かに話をしている、自分が言いたかったことが、相手にうまく伝わらなかったという経験がありますか、それともありませんか。



おおむね3分の2の人たちが、言語コミュニケーションでの誤解を経験したことがあると回答しています。互いの言いたいことが、うまく共有できなかつたり、誤解されたりすることは決して珍しいことではありません。

平成30年4月1日

発行者 文化庁国語課 東京都千代田区霞が関3-2-2
印刷社 ヤマノ印刷 東京都千代田区鍛冶町1-6-15

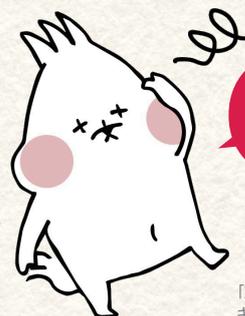
言語 コミュニケーション に必要な



要素

観点

とは 何だろう??



詳しくは
こちら



正確さ

1 意図したことを誤りなく伝える言葉を用いているか

2 ルールにのっとって言葉を使っているか

3 誤解を避けるよう努めているか

4 情報に誤りがないか

5 情報は目的に対して必要かつ十分か



分かりやすさ

1 相手が理解できる言葉を互いに使っているか

2 情報が整理されているか

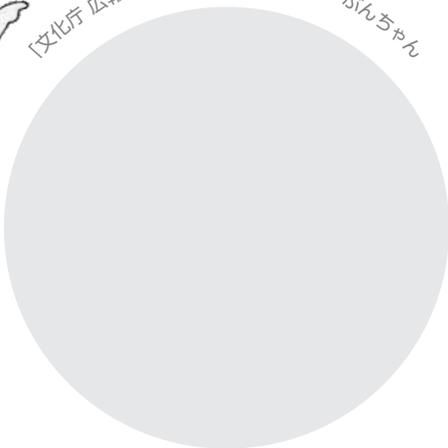
3 構成が考えられているか

4 互いの知識や理解力を知らずして互いに使っているか

5 聞いたり読んだりしやすい情報になっているか



「文化庁 広報誌ぶんかる」キャラクター ぶんちゃん



ふさわしさ

1 互いの気持ちに配慮した伝え方を考えているか

2 目的に調和した、感じの良い伝え合いになっているか

3 場面や状況に合った言葉や言葉遣いになっているか

4 相手や内容、目的に合った手段・媒体を使っているか

5 互いの言葉や言葉遣いに対して寛容であるか



敬意と親しさ

1 伝え合う相手との関係を考えているか

2 敬意をうまく伝え合っているか

3 親しさをうまく伝え合っているか

4 互いに遠ざかり過ぎたり近づき過ぎたりしていないか

5 用いる言葉が相手との関係や距離に影響することを意識しているか

